

# 睡眠時無呼吸症候群を発見するための検査

## 睡眠時無呼吸症候群(SAS)簡易検査

機器を装着して一晩お休みいただくだけです



SASとは Sleep Apnea Syndrome の頭文字をとったもので、眠っている時の無呼吸状態を示し、7時間に30回以上、あるいは1時間あたり5回以上あるとこれに当たります。

例えば日本は、新幹線のオーバーランや関越自動車道での防音壁衝突死亡事故などは睡眠時無呼吸症候群（以下SAS）が事故の一因と言われています。

また、アメリカでは年間に4～5万人が交通事故で亡くなるそうですが、そのうち15～20%の割合でSASが関連していると推測されており、その、**経済的損失は18兆円にのぼるとも**言われています。

更に、アメリカの調査では、**健常人と比べてSASの患者さんは高血圧は2倍<sup>(1)</sup>、虚血性心疾患は3倍<sup>(2)</sup>、脳血管疾患は4倍<sup>(3)</sup>、糖尿病は1.5倍<sup>(4)</sup>発症する可能性が高い**と言われています。

社会の経済的損失や、交通事故は多くの人を巻き込む結果となってしまうたり、ご自身の合併症のリスクを高めてしまうことになってしまいます。

**この機会に、睡眠時無呼吸症候群のスクリーニング検査をしてみませんか？**

【文献】 <sup>(1)</sup>Nieto FJ,Young TB,Lind BK.JAMA 2000;283:1829-1836 <sup>(2)</sup>Moore T, Rabben T, Wiklund U,Chest 1996;109:569-663  
<sup>(3)</sup>Bassetti C, Aldrich MS.Sleep 1999;22:217-223 <sup>(4)</sup>Punjabi NM, Shahar E, Redline S,Am J Epidemiol 2004;160:521-530

**注意** ・ただし、簡易検査では睡眠時無呼吸症候群を確実に診断できる訳ではありません。測定時間が短いと判定できないことがあります。  
 ・**1泊2日の入院検査（保険診療）が必要となる場合があります、平日はドック当日に予約ができるようにご案内しています。**

### 検査をお勧めする方

次の項目に該当する方は、検査をお勧めいたします。

眠っているとき・・・	日中、起きているとき・・・
いびきをかく	うとうとすることがある→運転中、読書中、会議中、会話中
息が止まる	記憶力や集中力が低下する
呼吸が乱れる	起床時の爽快感がない
息が苦しくて目がさめる	疲れやすい
何度も目を覚まし、トイレに行く	



人間ドックにお電話ください。機器の手配、問診票をお送りします。



検査機器が届いたら、腕に付けてお休みください。検査後は指定のところに返却します。



後日結果を郵送いたします。



### 1 検査内容

検査機器を貸出しますので、ご自宅で検査していただき、後日検査結果をお送りします。

### 2 料金

¥7,700円（消費税込）

### 3 申込方法

直ぐにお電話にてご予約をお願いします。

### 4 その他

不明な点は右記へお問い合わせください。